

対象学科	事務職養成 学 科		授業科目	簿記論						
氏名	友上 真弓		授業の方法	講義						
実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	実習	ソフトウェアおよび関連サービスの企画と開発、提供する会社に勤務し、開発とサポートを中心に実務経験を積んだ。						
対象学年	1	年生	年間授業時数	140	時間	学期	前期	後期	通年	<input type="radio"/>
【授業目標】										
一般企業の事務職(特に経理事務)において必須とされる複式簿記の理解をさらに進めるとともに、その過程で、企業についての理解や事務職の心得などの学習をさらに進める。本講は近年、話題になっている特殊な簿記会計の論点を扱っている点に特色がある。										
【到達目標】										
日本商工会議所・簿記検定試験(2級)の受験及び合格を第一の目標とする。										
【授業計画】										
<ol style="list-style-type: none"> 1 リース取引Ⅰ(リース取引の分類) 2 リース取引Ⅱ(ファイナンス・リース取引の会計処理) 3 課税所得の算定と税効果会計Ⅰ(課税所得の算定) 4 課税所得の算定と税効果会計Ⅱ(税効果会計に関する処理) 5 本支店会計Ⅰ(本支店間取引の色々) 6 本支店会計Ⅱ(本支店合併財務諸表の作成) 7 過去試験問題による演習Ⅰ 8 過去試験問題による演習Ⅱ 9 過去試験問題による演習Ⅲ 10 外貨換算会計Ⅰ(外貨建取引の会計処理) 11 外貨換算会計Ⅱ(決算時の会計処理) 12 合併と事業譲渡 13 過去試験問題による演習Ⅳ 14 過去試験問題による演習Ⅴ 15 連結会計Ⅰ(資本連結Ⅰ:連結財務諸表) 16 連結会計Ⅰ(資本連結Ⅰ:投資と資本の相殺消去) 17 連結会計Ⅱ(資本連結Ⅱ:支配獲得後の連結) 18 連結会計Ⅱ(資本連結Ⅱ:連結精算表) 19 連結会計Ⅲ(成果連結:連結修正仕訳) 20 連結会計Ⅲ(成果連結:連結修正仕訳) 21 連結会計Ⅲ(成果連結:未実現利益の消去) 22 連結会計Ⅲ(成果連結:未実現利益の消去) 23 過去試験問題による演習Ⅵ 24 過去試験問題による演習Ⅵ 25 過去試験問題による演習Ⅶ 26 過去試験問題による演習Ⅶ 27 直前予想問題による模擬試験Ⅰ 28 直前予想問題による模擬試験Ⅰ 29 直前予想問題による模擬試験Ⅱ 30 直前予想問題による模擬試験Ⅱ 										
【授業評価方法・注意】										
本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。										
①出席点 40点 ※40×出席率										
②授業成果物 30点 ※授業成果物の状況に応じて(0、5、10、15、20、25、30点)										
③学習状況 30点 ※興味関心意欲等の状況に応じて(0、5、10、15、20、25、30点)										
【教科書等】										
<ul style="list-style-type: none"> ・TAC(株)『合格テキスト日商簿記2級』 ・TAC(株)『合格トレーニング日商簿記2級』 										